

性と生の多様性 ～みんなでLGBTsについて学ぼう～

～開催趣旨～

「ふつう」とは何でしょう？

「あたりまえ」とは何でしょう？

何が「ふつう」で、何が「あたりまえ」なのか。

私たちは、社会の多数派がくり返すことにより形成された価値観やルールにおおわれて生活しています。

知人に会えば挨拶をすべきでしょうし、学校や職場には遅刻すべきではないでしょう。

集団を構成する一人一人が一般的に望ましいとされる価値観やルールをある程度共有することは、スムーズな社会生活を送る上で大切なことです。

そしてこの価値観や規律を基準に「制度」が作られていきます。

しかし、社会は時代とともに変化します。

にも関わらず私たちが持つ価値観や制度が古いままであると、社会のあちらこちらで様々なズレが生じ、多くの性的マイノリティに生きづらさをもたらすことがあります。

今大会ではまず、性の多様性という視点から私たちがもつ「ふつう」を問い直してみます。

そしてその「ふつう」が変わらないことにより、性的マイノリティがどのような困難を抱えているのか、またその困難を解消するためにはどのような新しい「制度」が必要となるのかを考えていきたいと思えます。

本日の学びを機に、この高知から、多様性を当たり前を受け入れられる社会に変えていきましょう！！

●大会長 宮本 寛（高知県リハビリテーション研究会 会長）

●実行委員長 （レインボー高知 代表）

※実行委員長はLGBTsの当事者であり、氏名を公にはしてないため、空欄にしています。

●開催日時 令和元(2019)年11月3日(日・文化の日) 10:00～16:00

●会場 高知県立人権啓発センター 6階 ホール（高知市本町4丁目1-37）

●主 催 高知県リハビリテーション研究会

～高知県に地域リハビリテーションの理念を普及させる～

※地域リハビリテーションとは、障害のある子供や成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行なう活動のすべてを言う。（「日本リハビリテーション病院・施設協会」の定義より）

●共 催 高知県教育委員会 レインボー高知

●後 援

高知県 高知県高等学校PTA連合会 高知県小中学校PTA連合会 高知県人権教育研究協議会 高知県人権啓発センター 高知県医師会 高知県医療ソーシャルワーカー協会 高知県栄養士会 高知県介護支援専門員連絡協議会 高知県介護福祉士会 高知県介護老人保健施設協議会 高知県回復期リハビリテーション病棟連絡会 高知県看護協会 高知県眼科医会 高知県口のリハビリテーション研究会 高知県言語聴覚士会 高知県作業療法士会 高知県歯科医師会 高知県歯科衛生士会 高知県視覚障害者協会 高知県肢体障害者協会 高知県視能訓練士会 高知県視力障害者の生活と権利を守る会 高知県社会福祉協議会 高知県社会福祉士会 高知県鍼灸マッサージ師会 高知県身体障害者（児）施設協会 高知県身体障害者連合会 高知県精神障害者地域生活支援施設連絡会 高知県精神神経科診療所協会 高知県精神保健福祉協会 高知県精神保健福祉士協会 高知県地域密着型サービス協議会 高知県知的障害者育成会 高知県知的障害者福祉協会 高知県聴覚障害者協会 高知県通所サービス事業所連絡協議会 高知県訪問看護連絡協議会 高知県ホームヘルパー連絡協議会 高知県網膜色素変性症協会 高知県薬剤師会 高知県理学療法士協会 高知県老人福祉施設協議会 こうち在宅リハネットワーク 日本精神科病院協会高知県支部 認知症の人と家族の会高知県支部 KSSさんさんテレビ KUTVテレビ高知 NHK高知放送局 RKC高知放送 エフエム高知 高知ケーブルテレビ 朝日新聞高知総局 共同通信社高知支局 高知新聞社 産経新聞社高知支局 時事通信社高知支局 毎日新聞高知支局 読売新聞高知支局

「高知県は公益に資する自由な議論の場の確保のため当該事業を後援しています」

●参 加 費 一般 1,000円 学生（大学・専門学校等） 500円 高校生以下 無料

●参加申込み

10月24日（木）までに、次の事項を記入したFAX又はEメールにて事務局までお申し込みください。

お名前（通称名可）、参加区分（一般、学生等）、連絡先（電話番号、FAX又はEメールアドレス）、昼食弁当の注文の要否

【*お構わない方は次の事項もお教えてください。所属、職種、リハ研会員の有無】

※別紙の参加申込書によりお申し込みいただけます。

※当日の参加も受け付けますが、なるべく事前にお申し込みください。

※障害等により上記の方法での申し込みが困難な方は、お電話で申し込みを受け付けします。

※参加申込みにより知り得た個人情報参加管理にのみ使用し、外部に漏洩することはありません。

●昼食弁当

昼食弁当(税込600円・お茶付)の斡旋をいたしますので、申込時に昼食弁当の要否をお知らせください。（今回、ランチョン発表があるため、昼休みの時間が短くなっております。昼食を持参しない方は注文することをお勧めします。）

なお、10月31日(木)以降の昼食弁当のキャンセルには応じかねますので、ご注意ください。

●質問等募集

LGBTsに関する質問等を募集いたします。質問等がある方は、申し込み時にお知らせください。（大会を進行するうえで参考にさせていただきます。）

●駐 車 場 駐車場はありませんので、お車の場合は周辺の有料駐車場をご利用ください。

●そ の 他

- ・会場での移動の介助や情報保障（要約筆記、手話通訳、視覚障害者の説明介助など）のサポートが必要な方は、ご自分でご手配いただくか、申込時にご相談ください。
- ・自然災害等により開催の可否の判断が必要な状況となった場合は、高知県リハビリテーション研究会のホームページ(<http://rihaken.sakura.ne.jp/rihab/>)にてお知らせしますので、ご確認ください。

●事 務 局 高知県リハビリテーション研究会 事務局

メール送信
QRコード



〒780-8567 高知市朝倉戊 375-1 県立ふくし交流プラザ内
社会福祉法人高知県社会福祉協議会 高知県福祉研修センター（担当：細木）
TEL 088-844-3605 FAX 088-844-9443
Eメール rihaken@rihaken.sakura.ne.jp
ホームページ <http://rihaken.sakura.ne.jp/rihab/>

大会参加者への厳重なるお願い

以下にカミングアウトとアウティングについて説明します。

カミングアウト：これまで公にしていなかった人が、自分が性的少数者であることを表明すること。信頼した相手にしかできないことが一般的です。

アウティング：他に知られたくない個人情報を、本人の承諾なしに第三者に漏らす行為を言います。性的マイノリティの場合、当事者の性的指向、性自認、性別違和の人が性別変更したこと等の情報です。セクシュアルマイノリティ当事者はあなたを「信用」してカミングアウトをしています、他の人には絶対に勝手に伝えないようにしましょう。

今大会を通じて、カミングアウトする人が出てきます。その方のことを絶対にアウティングしないでください。

アウティングは人権に関わる問題であり、カミングアウトした当事者の心を傷つける行為です。プライバシーの権利の侵害であり、名誉棄損にも該当します。訴訟も起こっています。今大会によって上記のようなことが起こらないように、よろしくお願いします。

※アウティングがなぜダメなのか？

当事者が自死を選ぶほどの精神的被害を受けることが多いからです。

2015年に起きた一橋大学法科大学院でのアウティング事件では、ゲイの当事者が自死に追いやられた。なぜアウティングに至ったかの経緯において、遺族とアウティングした当人の間では和解しているが、大学とは特段の対策をとってくれなかったと係争中である。

最近では、看護助手として働いていた身体の性は男性で、性自認が女性のトランスジェンダーで、戸籍の性も変更している当事者が、勤務先の病院の上司から元男性だったことを公表するように強要され、拒否したが職場の同僚にアウティングされた。

周りから働きにくい状態に追い込まれ、今年2月の勤務中に職場で飛び降り自殺を図ったが一命は取り留めた。医療法人相手に1200万円の損害賠償を求めて提訴している。

日 程	
9:30~10:00	受付
10:00~10:10	開会 開会挨拶 宮本 寛 (第52回高知県リハビリテーション研究大会長)
10:10~10:40 (30分)	話題提供「高知県の取り組みについて」 高知県県民生活・男女共同参画課 高知県教育委員会事務局 人権教育課
10:40~12:10 (90分)	講演「多様な私たちが多様に生きられるために」 ~LGBT をめぐる社会状況から~ 講師 砂川 秀樹 氏 (文化人類学者)
12:10~12:40	昼食休憩
12:40~13:00 (20分)	ランチョン発表 (昼食を食べながら聴講OK!) 独立行政法人国立病院機構高知病院 産婦人科 医長 滝川 稚也 氏 国立大学法人高知大学医学部付属病院 看護部 副看護師長 中村 美保 氏
13:00~14:10 (70分)	発表 当事者4名 (レズビアン、ゲイ、エックスジェンダー、トランスジェンダー) 国際関係1名 ショーン バーゴイン 氏 (オーストラリア)
14:10~14:25	休憩
14:25~15:55 (90分)	パネルディスカッション 「性と生の多様性 ~みんなでLGBTsについて学ぼう~」 コーディネーター 南国中央病院 副院長 宮本 寛 パネラー (発表者等) コメンテーター 南国病院 院長 中澤 宏之 氏 アドバイザー 文化人類学者 砂川 秀樹 氏
15:55~16:00	閉会 閉会挨拶 第52回高知県リハビリテーション研究大会実行委員長

<砂川 秀樹 氏 プロフィール>

文化人類学者・博士(学術)。明治学院大学国際平和研究所研究員。1990年からHIV/AIDSに関する活動や研究に従事。2000年には、実行委員長として「東京レズビアン&ゲイパレード」(後の東京プライドパレード)を開催。その後、同パレードの母体団体TOKYO Prideの代表を務めるなど、2000年代の東京のLGBTパレードを牽引した。2011年に故郷の沖縄に戻り、2013~17年、沖縄初のLGBTプライドイベント「ピンクドット沖縄」を共同代表として成功させた。2016年に、東京に居を戻し、多摩大学などで非常勤講師を務めている。著書に『カミングアウト』(朝日新書)、『新宿二丁目の文化人類学』(太郎次郎社エディタス)、編著に『カミングアウト・レターズ』(太郎次郎社エディタス)。

LGBTsとは何か

L; Lesbian(レズビアン); 女性同性愛者。女性に対して恋愛感情や性的欲求を持つ女性。身体の性は女性、性自認は女性、性的指向は女性。

G; Gay(ゲイ); 男性同性愛者。男性に対して恋愛感情や性的欲求を持つ男性。身体の性は男性、性自認は男性、性的指向は男性。

B; Bisexual(バイセクシュアル); 両性愛者。男性に対しても女性に対しても恋愛感情や性的欲求を持つ人。身体の性は男性または女性。性自認は身体の性と一致。性的指向は男性・女性両方。

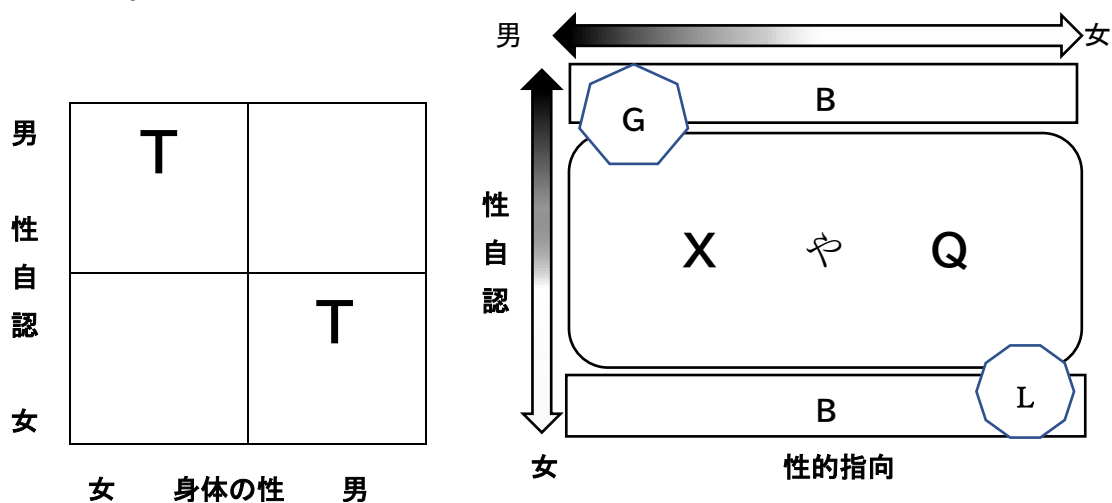
T; Transgender(トランスジェンダー); 生まれた時に割り当てられた性別とは異なる性別で、または性別に捉われず生きようとする人。身体の性と性自認とが一致していない人。

身体の性(Sex); 生物学的性別。性染色体、性ホルモンレベルや性器の形状等で客観的に定義できる場合が多い。

性自認 (Gender Identity); 自分がどの性別であるか、または、ないかということについての内面的・個人的な認識。

性的指向(Sexual Orientation); 恋愛感情や性的欲求が主にどの性別に向いているかということ。「指向」とは自分では変えることのできない、持って生まれた気持ちであり、趣味や娯楽のような「嗜好」と混同しないことが重要。

SOGI(Sexual OrientationとGender Identityの頭文字を組み合わせた概念): 身体の性と性自認と性的指向との組み合わせは LGBT の組み合わせ以外にも複数あり、また明確な区切りは無く、連続的なものである。自分自身でも不確定で迷っているクエスチョニング(Questioning)やどれにも明確にはあてはまらないと感じているエックスジェンダー(Xgender)や、アセクシュアル(aseexual)、パンセクシュアル(Pansexual)、ポリセクシュアル(Polysexual)、その他、これらをまとめて LGBTs と表現することがある。



なぜ、高知県リハビリテーション研究大会でLGBTsをテーマとして取り上げるのか

日本の社会では、性別は「男」「女」しかないと思っている人たちが多数います。一方、医学的には性別は「男」「女」だけでは分類できないということが分かっています。そして、そのことを知っている人たちはまだまだ少なく、あるいは知ってはいても、正確な知識をもっていない人たちも多数います。「男」「女」だけでは分類できない性別の人たちを性的少数者(セクシュアルマイノリティ)と言います。性的少数者は、日本の社会では、偏見または知識不足、無関心などにより差別を受けたり嘲笑の対象として扱われたりすることが日常生活、社会生活の様々な場面で見られています。性的少数者の人権に関わる問題です。国の方針としても性的少数者の人権を守る事が義務付けられています。2016年8月2日厚生労働省告示第314号では、以下のように明記されています。

「職場におけるセクシュアルハラスメントは、相手の性的指向(Sexual Orientation)または性自認(Gender Identity)にかかわらず、該当することがあり得ます。「ホモ」「オカマ」「レズ」などを含む言動は、セクシュアルハラスメントの背景にもなり得ます。また、性的性質を有する言動はセクシュアルハラスメントに該当します。性的指向や性自認への理解を深め、差別的言動や嫌がらせが起らないようにすることが重要です。」

しかし、多くの職場では性的少数者への配慮はなされず、差別的状況はあるのが現状です。この法律があることさえ知らない人たちも多数います。

大手広告代理店「電通」の全国調査(2018年10月)では回答者の8.9%が性的少数者であることがわかっています(モニタ型ウェブ調査)。職場や生活場面のみならず、障害のある人や高齢者にも性的少数者はいます。にも関わらず、支援をする側にもされる側にも、これまで適切な対策がとられていなかったと言えます。

リハビリテーション(rehabilitation)の日本語訳は「全人間的復権」です。Re(再び) Habiris(ふさわしい、適した) ation(にすること)「ある人がその人らしくない状態に陥っているとき、再びその人らしい状態にすること」です。

高知県リハビリテーション研究会には、人権に対する意識の高い人たちがたくさん参加しています。今大会において、正確な知識と適切な考え方を学び、ますます人権意識を高め、より適切な行動ができるようになることが望ましいと考え、テーマとしてとりあげることになりました。

高知県リハビリテーション研究会 会長 宮本 寛